

平成10年 5月19日	植 防 情 報	発表	栃木県病害虫防除所
----------------	----------------	----	-----------

病害虫発生予察注意報第1号

作物名 : 麦 類
病害虫名 : 赤かび病

1 発生状況

発生量 多 い
発生地域 県内全域

2 根 拠

- (1) 4月中・下旬から5月上旬にかけて気温が高く、降水量も多い等、赤かび病の発生要因がそろっていた。
- (2) 5月上旬に実施した調査では、発病ほ場率が高かった。その後も、発生の多いほ場が増加している。

赤かび病の年次別発病ほ場率の推移（％）

年 度	発病ほ場率
7年度	8 . 8
8年度	0 . 0
9年度	0 . 0
10年度	5 7 . 1

- (3) 向こう1か月の気象予報（5月15日発表）によると、気温が高く降水量は多いと予測されているので、二条・六条大麦の各品種での発生の拡大と小麦での多発が予想される。

3 対 策

- (1) 農薬適正使用基準を遵守して、薬剤による防除を行い、被害の拡大を防止する（次頁参照）。
- (2) 刈り取り後、健全粒への感染を防止するために、速やかに乾燥・調整を行う。
- (3) 病原菌は被害種子や麦稈で越夏するため、収穫後は早めにすき込みを行い、翌年の伝染を防止する。
- (4) 多発ほ場からは、採種しないようにする。

麦類の赤かび病に適用のある主な農薬

大麦の防除薬剤

薬 剤 名	希 釈 倍 率 等	適 正 使 用 基 準	備 考
トップシオンM粉剤	4 kg/10a	1 4 日 前 / 2 回	E B I 剤
トップシオンM水和剤	1000 ~ 1500倍	1 4 日 前 / 3 回	
トリフミン水和剤	1000 ~ 2000倍	1 4 日 前 / 3 回	

小麦の防除薬剤

薬 剤 名	希 釈 倍 率 等	適 正 使 用 基 準	備 考
トップシオンM粉剤	4 kg/10a	1 4 日 前 / 2 回	E B I 剤
トップシオンM水和剤	1000 ~ 1500倍	1 4 日 前 / 3 回	
アミスター-20フロアブル	2000倍	7 日 前 / 3 回	
トリフミン水和剤	1000 ~ 2000倍	1 4 日 前 / 3 回	
トリフミン乳剤	1000倍	3 日 前 / 3 回	
フィルト乳剤25	1000 ~ 2000倍	1 4 日 前 / 3 回	

* E B I 剤は耐性菌防止のため、1作2回以内の使用とする。

 詳しくは栃木県病害虫防除所にお問い合わせ下さい。

T E L 0 2 8 - 6 6 5 - 5 6 4 5
